

収支決算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
収入(単位:円)			
終身会費(20,000円)	3,940,000	3,880,000	60,000
年会費(2,000円)	120,000	110,000	10,000
卒業記念品代	394,000	388,000	6,000
雑収入	0	0	0
受取利息	100	209	(109)
収入合計	4,454,100	4,378,209	
支出(単位:円)			
消耗品費	10,000	324	9,676
用品費	0	0	0
水道光熱費	0	0	0
旅費交通費	390,000	183,512	206,488
通信運搬費	150,000	106,530	43,470
印刷製本	150,000	137,160	12,840
使用料・賃借料	20,000	0	20,000
会議費	30,000	7,236	22,764
行事費	50,000	0	50,000
報酬・委託・手数料	10,000	1,944	8,056
業務管理費	277,200	277,200	0
奨学費	0	0	0
教育活動支援費	200,000	0	200,000
広告費	25,000	21,600	3,400
卒業記念品代	394,000	340,000	54,000
雑費	0	0	0
予備費	100,000	0	100,000
奨学費積立	1,000,000	1,000,000	0
教育活動支援費積立	200,000	200,000	0
周年行事費積立	200,000	200,000	0
支出合計	3,206,200	2,475,506	730,694
当年度収入超過額	1,247,900	1,902,703	(654,803)
支出合計	4,454,100	4,378,209	75,891
前年度繰越収入超過額	12,290,309	14,752,493	(2,462,184)
翌年度繰越収入超過額	13,538,209	16,655,196	(3,116,987)

事業報告と計画

- 2018年度事業報告
- ・高校野球部の応援広告
 - ・東京研修キャンパスツアーの協力
 - ・中学・高校入試時の協力
 - ・校友会入会式実施(2/28)
 - ・全国大会横断幕作成
 - ・会報の発行・HPへの掲載
- 2019年度事業計画
- ・高校野球部の応援広告
 - ・東京研修キャンパスツアーの協力
 - ・中学・高校入試時の協力
 - ・校友会入会式実施(2/28)
 - ・全国大会横断幕作成
 - ・会報の発行

お知らせ

卒業生からのメッセージを募集しています。近況報告など、メッセージをお寄せください。お寄せいただいたメッセージの中から卒業生のコーナーを設けられるようにしたいと思っております。

また、皆様から新聞の企画を募集いたします。新聞で取り上げて欲しい企画がありましたら事務局までご連絡ください。

告知

2020年度早稲田佐賀中学校・高等学校は10周年を迎えます。学校では2020年10月11日(日)に10周年記念式典が開催されます。それに伴い、前日或いは同日に大同窓会を開催したいと考えております。開催の通知方法は検討中です。会報を送付しているのは、卒業時に登録されたご実家の住所となっております。この機会に会員の皆様のご住所、電話番号、メールアドレスを

alumni@wasedasaga.jp
までお知らせください。

役員紹介

- | | |
|--------|---|
| 会長 | 坂田 憲治 |
| 副会長 | 重松 諒 |
| 副会長 | 伊東 巧平 |
| 会計 | 島林 秀枝 |
| 監事 | 小泉 萌子 |
| 代議員 | |
| 一期生 | 石黒 元規
小泉 萌子 |
| 二期生 | 坂田 憲治
島林 秀枝
西田 理史
笹津 敏暉
内山 勇樹 |
| 三期生 | 重松 諒
原口 栄佑子
原田 安珠
山元 康平 |
| 四期生 | 秋元 理帆 |
| 五期生 | 田中 謙伍 |
| 六期生 | 今西 健太 |
| 七期生 | 高田 幸毅 |
| 関東支部 | 菅津 敏暉 |
| 関東支部顧問 | 大西 正泰 |
| 特別会員 | 島本 幸三
大賀 征也 |
- 〒847-10016
佐賀県唐津市東城内7-1-1
学校法人大隈記念早稲田佐賀学園
早稲田佐賀中学校・高等学校内
早稲田佐賀校友会事務局
Tel: 0955-158-19000
Mail: alumni@wasedasaga.jp

早稲田佐賀校友会報

第3号
2020年1月発行

早稲田佐賀校友会

会長 坂田 憲治



初春の候、北風が身にしみる日々ですが、いかがが経過でしょうか。

平素は早稲田佐賀校友会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

我々1期生が唐津の地に集合したのが2010年4月のことで、来年度には学校創立10周年を迎えます。来る創立10周年に向けて、10月11日に開催予定の記念式典に向けて準備と情報発信を心がけています。式典後には大同窓会も企画しており、是非卒業生の皆様にもお集まりいただきたいです。関連して、昨年末には卒業生の交流を活性化していくために、九州支部を発足し、卒業生交流会も開催する事ができました。今後も規模を拡大していきながら、卒業生の繋がりを深めていける場を提供できるように努めます。

また、卒業生のみならず、在校生の支援にも取り組んでおります。在校生に対して経済的支援を行い、学業を励ますという目的で「早稲田佐賀校友会奨学金」という給付型奨学金の設立に向けて昨年からの準備を進めてきました。来年度から対象者への給付を予定しており、今後も様々な面で在校生をサポートしていく予定です。

最後になりますが、卒業生も今年度の3月で約1100名を超えることとなります。規模も年々大きくなり、皆様のご支援が不可欠です。

ご多用とは存じますが、在校生の健全な成長と母校の発展のためにも早稲田佐賀校友会の活動へのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

早稲田佐賀校友会

副会長 重松 諒

時の流れは早いもので私たちが集立った早稲田佐賀も開校10年を迎えました。校友の皆様におかれましても様々な道を歩まれ、ご活躍されているものと思っております。

2017年度より校友会副会長を務めております。2期生の重松諒と申します。日頃より私たち校友会の活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

去る昨年11月末には福岡で卒業生交流会を行いました。14名の卒業生にご出席いただき、楽しいひと時を一緒に過ごしていただきました。こちらの九州交流会につきましても、活動報告のページに詳しく記載しておりますのでご覧ください。今後も校友会間の交流や母校の発展に貢献していく所存です。早稲田佐賀校友会へのご協力よろしくお願いいたします。

早稲田佐賀校友会

副会長 伊東 巧平

初春の候、新春のお慶びを申し上げます。平素より、校友会の活動へのご協力を賜り、誠にありがとうございます。

校友会の規模も年々大きくなっていく中で、秋に控えた創立10周年記念式典に向け、校友会でも代議員を中心に様々な準備を行っております。

またそれと際し、先般の代議員会では懇親会と大同窓会の実行委員長を拝命いたしました。

全卒業生が一堂に会する同会が、よりオープンで、校友の集いの場となりうるよう、準備していきたくと考えております。

皆様のご意見・ご協力あつての校友会であることを深く肝に銘じ、初となる節目のイベントを皆様とともに盛大に祝えるよう邁進してまいりますので、引き続き、ご尽力のほど宜しくお願い致します。

大隈記念早稲田佐賀学園

前校長 宇高 勝之



この3月に6年間務めた校長を退任しました。第1期生の皆さんとは入れ替わりの着任でしたが、在任中6期間の卒業生の皆さんとは大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。素晴らしい唐津の地で伸び伸びかつしっかり学ぶ事ができる学校、潤いのある寮を自指してきました。大学兼務とは言い難いですが、卒業生皆さんの評価は如何でしょうか。今後は社会で、そして早稲田大学や他大で一生懸命頑張っている卒業生の皆さんを陰に陽にできるだけ支援できればと考えています。ぜひ早稲田佐賀で学んだ色々な経験を活かして、世界に羽ばたいて頂く事を期待しています。

Where there is a will, there is a way!

新任挨拶

新校長 吉江 修



2019年4月に校長に就任致しました。校友会の皆様にご挨拶するのがたいへん遅くなりましたが、どうぞ宜しくお願いします。入学式に始まった学校内外の1年分の行事をまもなく一通り経験することになります。改めて早稲田佐賀10年の歴史の上に築かれた魅力を感じるとともに、今後10年に向けて進んでいくべき方向性を思い描いています。そのひとつとして、本校に多文化共生の環境を創り出し、日本人生徒、外国人生徒、そして教員・スタッフまでもが互いに刺激を与え合えるような学校とすることが魅力的に感じられます。唐津という地にあって、その良い意味でのローカル性と、多文化共生によるグローバル性とを併せ持つ、日本でも有数の学校となることを目指す所存です。

高等学校教頭 小部 勝巳



卒業生の皆さん、お元気ですか。唐津は今日も青空のもと、さわやかな海風が吹く中、静かな時が流れています。

さて、皆さんに稲盛和夫さん(京セラ・KDDIの創業者)の著書「生き方」を紹介いたします。有名な著書なので、知っている人も多いでしょうが、この本は、稲盛さんが自分の経験をもとにして、人としての生き方について述べられたものです。稲盛さんは、人生の方程式を次のように表現されています。

「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」

大切なのは「掛け算」であることで、どれか1つが低くても、他の要素によってカバーすることができると、逆に、どれか1つでも0であれば、成果には結びつきません。これに従うと人並みの「能力」の人でも、「考え方」を磨き、強い「熱意」を持つことで、大きな成果を上げることができると、そして、何より大事なことは、「考え方」です。この「考え方」とは、規範や道徳心などのことであり、マイナスにもなり得るため、努力の方向性を間違えてしまうと、社会に害を及ぼす可能性すらあります。従って、この「考え方」を磨くことが、より大切だと述べられています。

以上のような稲盛さんの考えは、卒業生の皆さんの今後の生き方に、大いに参考になるのではないのでしょうか。皆さんが、今後の社会人として自立し、一人生きていく中で、この方程式を意識し、より良い結果を得ることができたら幸いです。何より、プラスとなる「考え方」を持てるよう、多くの経験を積んでください。そして、悩んだときには、ぜひ唐津へ。待っています。

最後に、中学校1期生の皆さん、いよいよ大学卒業ですね。早いもので中学校入学から10年が経とうとしています。皆さんのこれからの活躍を祈念しております。